

Sound Emotion

告白

待って、行かないで！

私さ、2人つきりになれるの、ずっとずっと待ってたんだ。

でね、私、私さ、私・・・

・・・きな。

あ、だめ、わかってる、ちゃんと聞こえなかったよね。

もう一回、ちゃんと言うから、ううん、言わせてほしいの！

えっとね、じゃあ、言うね、私、私ね・・・

・・・あなたのことが、好きなの！！

・・・

い、いきなりびっくりしたよね？

私普段は、自分の感情あまり出さないから・・・

でもね、ずっとずっと、好きだったの。

あ、でも最初からじゃないよ。

はじめて会ったときは、全然なんとも思ってたもん。

聞いてくれる？

前にさ、みんなで花火大会見に行ったことあったじゃない？

あ、のとき、ほら食べなよって言って、食べかけのからあげ棒くれてさ。

なんともない風にして食べたけど、心の中で、これって間接キスだよなって、すごいドキドキしてたんだ。

あ、夜だからっていうのもあったよ。

暗いと顔とかもよく見えなくなるし、距離もすごく近く感じて。

ほら、人って自分のまわりにパーソナルスペースを持ってると言うじゃない？

そのパーソナルスペースの中に男の人が入ってくるって経験、あまりなかったから。

でね、その後になつてから、よくよく聞くとすごく落ち着く声してるなあとか、話してるときいつもよく笑ってるなあとか、どんどんいいところが見つかっていって、気がついたら目で追っかけるようになったちゃってたんだ。

そしたら私、変に意識しちゃって。

あなたのこと、逆に避けるようになって。

自分が好きになっちゃったって気持ちを知られることが、すごく、すごく、こわかった。

あ、でもね、一緒にいるときは、できるだけ普通でいるようには心がけたよ？

普段と違う態度とったら、それこそ怪しまれちゃうでしょ。

すー……。はあああ。

うん、私の話はこれおしまい！

ずっと2人きりになったら言うぞ、言うぞって思ってた、今全部言えたから。

なんかもうつかれたー、やり切ったーって感じ！

へ、返事は、別に今じゃなくっていいよ。

えへへ、聞くの、こわいんだ。

勢いに任せて言うことばかりで、その後のこと、なんにも考えてなかったの。

じゃあ、もう行っていいよ。

あ、こういう場合って、私が先に行った方がいいのかな？

じゃ、じゃあね！

返事は期待しないで待ってる！

またねー！！